

2019(令和1)年度 『修学旅行』(普通科2年・家政科2年)

2019. 12. 03 (火) ~12. 06 (金)

【1日目】 長崎空港 → 羽田空港 → 班別自由研修 → ホテルへ

いよいよ、待ちに待った修学旅行の始まりです。

保安検査場は、大変な混雑となりましたが、全員無事に出発できました。



男子はちょっと待ち疲れ…。



でも、女子は元気いっぱいです。



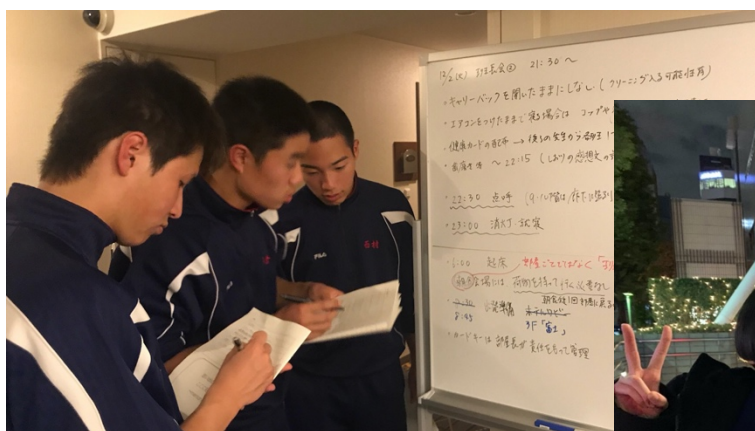
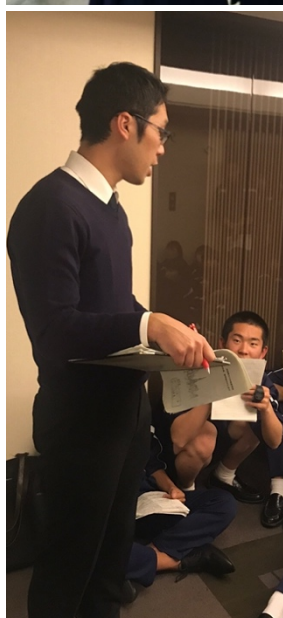


10時30分頃 富士山を機内から見て、東京到着です。



残念ながら、班別自主研修の様子を、写真に収めることはできなかったようですが、満員電車を経験したり、都内を散策したりと充実した時間を過ごしたようです。

ホテル付近での様子や班長会、午前中の写真を載せますのでご覧ください。



班長会



ホテル前で

【2日目】 ホテル → 次世代型修学旅行研修プログラム → ホテルへ

2日目がスタートしました。寝坊なし！体調不良なし!! 大変お利口さんとの報告です。



料理も美味しく、お腹いっぱい食べたようです。

次世代型修学旅行研修プログラムへ出発です！



午前は7つのコースに分かれてのテーマ別研修、午後から全体研修を行いました。

①言語バリアフリー

日本に暮らす外国人の方々が、言葉の壁を感じ、すごしにくさを感じている現状を知り、その解決に向けた一例として、QRコードを用いた言語変換機能について学習しました。



②異文化理解

渋谷にある国内最大のモスク「東京ジャーミイ」を訪れ、イスラム教の教えの意味や施設について学習し、実際に礼拝の様子も見学しました。



③伝統工芸

全国の伝統工芸に目を向け、現状を知り、次世代に受け継いでいくためには何が必要か、実際に触れながら考えました。



④生活テクノロジー（川崎重工業ロボステージにて）

VRによる工場見学とテクノロジーの可能性と課題について学習しました。



⑤臓器移植

希望者の2%しか提供してもらえないという臓器移植の現状と臓器移植に関する法規、提供する側とされる側の思い、橋渡しをしている日本臓器移植ネットワークという団体について学習しました。



⑥多文化共生社会

日本に暮らす外国人の方との交流を通じて差別や課題の現状を知る。また、ソーシャルビジネスという経済活動を通じて課題解決に取り組む人たちについて学習しました。この写真は、シェアハウスで無人島に何を持っていくか話し合っています。



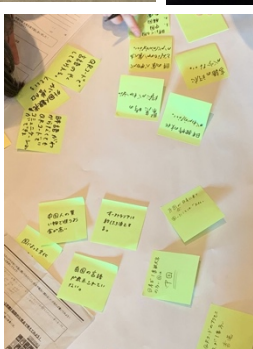
⑦海ゴミ問題

海ゴミのほとんどが街で捨てられたゴミが海まで流出すること、プラスチックゴミのほとんどがリサイクルされない現状を学習し、短時間でしたが荒川河川敷に向かい、ゴミ拾いをして現状について身を持って体験しました。



午後の全体ワークショップ

このワークショップでは、11月12日に行われたオリエンテーションから、宿題となっていた事前リサーチ、午前中のスタディーツアーを経て、各班のテーマに沿った内容を議論し、まとめ、発表するということが行われたようです。



Kawasaki Robostage さんへ

2019年12月4日

お建は今日の劇場でロボットの作例についてお話を聞かせてください。
ロボットの歴史がわかる問題を詳しく知ることができ今回の課題について有意義な授業になりました。また、校舎がロボットやVRを体験できるロボット技術の学校なのだと驚きました。今日学んだことはこれから生活に活かしたいとおもいました。

長崎県立大村高校 テーマ 未来をアゲよう
メンバー(津野、辻本、斎藤、山下)

(/ O) 班

12/9

今回学んだ問題に貢献するために、課題や解決策を班で話し合いました！
以下の解決策を提案します！ぜひご検討ください！

◆この社会問題における理想状態は…

ロボットが
人の意思をより豊かに理解できる状態
な状態
(設定理由 現在は、具体的な理想状態を補足説明すること)
自らは労働者の役割を減らしている問題があり、その結果、11月労働者のロボット
技術の導入、人の役割を減らさず。

◆上記の理想状態を実現するために解決すべき課題は…

ロボットの技術の進化によって、人間がロボットに理解し合えることが必要だ。
授業に危機感を得よう。
(設定理由 現在は 具体的な課題内容を補足説明すること)
労働者の役割を減らす、労働者の働き方を増やすこと。

◆上記の課題をクリアするために効果的な解決策は…

人々が
ロボットと働き合わせる
する
具体的なことは…
今までの現状でロボットに人間が近い問題を増やす。
ロボットの働き方を増やす。

Copyright © 2019 All Rights Reserved

2019年12月4日

下山 さんへ

今回の下山の話を聞いて、とても感動に思いました。そして、平瀬は、
 イスラム教が抱えている問題などを知り、それについて自分
 の議論や解決策について意見を述べることができました。"知ることこそが
 ほかの人の心をもっと理解する第一だと思います。だから、私の方からまず
 自分に向け、After. からは意見を交わすことも大切にして生きていこうと腹を決
 めました。"

長崎県立大村高校 テーマ: 異文化理解 () 座
 メンバー: (姓、名、姓、名、姓、名))より

今回学んだ問題に貢献するために、課題や解決策を班で話し合いました！
 以下の解決策を提案します！ぜひご検討ください！

◆この社会問題における理想状態は…

人々が
 互いに理解し合っており、共に生きていける 女学生

(設定理由 または 具体的な理想状態を簡単に説明すると…)
 差別や偏見のない社会
 イスラム教の人々と他の宗教の人々が互いに理解し合える社会

◆上記の理想状態を実現するために解決すべき課題は…

お互いの誤解が多い。誤解。意見交換の機会が少ない

(設定理由 または 具体的な課題の内容を簡単に説明すると…)
 授業では両者のことについて知識が深まるが、深く知ることができない。
 そして教える側が知識や自分の経験で自分と教える側が合う合わないがある。

◆上記の課題をクリアするために効果的な解決策は…

知識 が
 互いに理解し合えるようになるように努力すること

具体的には… 授業で

お互いの文化や宗教について詳しく学ぶ機会を設ける。授業では両者のことについて知識が深まるが、深く知ることができない。
 など、授業だけでなく、授業以外の時間にもお互いの文化や宗教について学ぶ機会を設ける。
 また、お互いの文化や宗教について詳しく学ぶ機会を設ける。授業では両者のことについて知識が深まるが、深く知ることができない。
 など、授業だけでなく、授業以外の時間にもお互いの文化や宗教について学ぶ機会を設ける。
 また、お互いの文化や宗教について詳しく学ぶ機会を設ける。授業では両者のことについて知識が深まるが、深く知ることができない。
 など、授業だけでなく、授業以外の時間にもお互いの文化や宗教について学ぶ機会を設ける。

A group of students in a dining hall, smiling and making peace signs while eating. They are seated around a long table with various dishes, including bowls of food and glasses of water. The students are wearing dark sweaters over white collared shirts. The background shows a window with a grid pattern and a wooden wall.



【3日目】 ホテル → 浅草地区研修 → 東京ディズニーランド → ホテルへ



本日の研修写真の前に、この修学旅行期間中に誕生日を迎えた4名です。17歳、おめでとう!!

浅草寺にやってきました。



5組、全員集合です!

班別に散策している様子をどうぞ。



記念の一枚！ハイポーズ!!

天候にも恵まれ、充実した研修になっているようです。



浅草から移動し、東京ディズニーランドにやってきました！



みんな夢の国へ到着です。

このあと、どんな写真が
学校に届くのでしょうか？

次の更新は、明日午前です。
皆さん、楽しんで！
いい写真を期待しています。



ディズニー入場前は、こんな感じでしたが・・・。



さすが東京ディズニーランド！ 一瞬でこんな感じに!!



みんな時間いっぱい満喫です。





3 日目は、浅草研修から東京ディズニーランドへと充実したものになったのではない
でしょうか。この日を楽しみにしていた人も多かったと思います。

最後まで、時間に遅れることなく、行動できたことは素晴らしかったと思いますよ。

【4日目】 ホテル → クラス別研修 → お台場研修 → 16:25 羽田発 → 18:20 長崎着予定

最終日のスタートです。

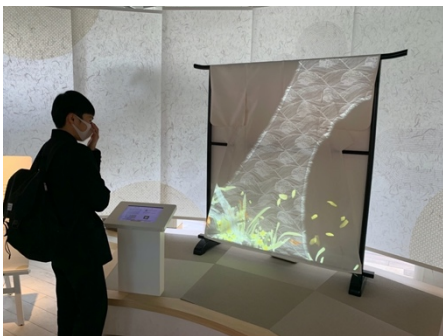
さあ、皆さん。今日の研修も充実したものにししょう!!

クラス別研修は、

2組：TEPIA 先端技術館



3組：パナソニックセンター



4組：国立科学博物館 上野動物園



5組：国立博物館



6組：皇居周辺車窓見学→神宮外苑銀杏並木散策→JICA 国際ひろば





羽田空港での解団式



最終日、クラス別研修を終え、お台場研修後、羽田空港にて解団式を行いました。4日間大きな事故や問題もなく、無事に終わることができました。みんなが口を揃えて言っていましたが、本当に楽しい4日間だったようです。大村空港への到着は若干遅れましたが、多くの保護者の方のお迎えがあり、生徒たちは緊張が解けたのか、少し落ち着いたような表情見せていたことが印象的でした。

近畿日本ツーリストの松尾さんをはじめとする添乗員の方々や研修、宿泊先でお世話になった方々に感謝し、この修学旅行で得た経験が今後の生活の中で活かされ、更に大きく成長して欲しいと思います。